

1 2020年の東京オリンピックに向けてについて

ただいまの^{ながしま}永島^{りこ}璃子議員のご質問にお答え申し上げます。

2020年の東京オリンピックに向けてについてであります。現在、政治や経済、文化などの様々な面で、国や地域の枠を越えてやり取りが行われるグローバル化が進展する中で、日本人の英語力の向上は、とても重要となってきました。また、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックが行われ、多くの外国の人たちを迎え入れることになることから、国においては、これまで以上に英語教育を充実させていくことが検討されています。その中で、小学校3・4年生から、週に1～2時間程度、外国語活動を行うようにしたり、小学校5・6年生から、週に2～3時間程度、教科として英語の授業を行うようにしたりすることが挙げられています。

まず、ご提案のオールイングリッシュデイを設定することについてですが、沼田市内のある小学校では、廊下の一部を「イングリッシュ

ストリート」と名付け、英語のあいさつ例などの資料をまとめて掲示したり、その場所では、英語を使って会話するようにしたりして、児童のみなさんが、積極的に英語にかかわれるように工夫しています。

英語しか使わない日を作ることは、英語を日常生活の中に取り入れ、英語に慣れ親しむ機会を作っていくという面でとても効果的なことであると思いますが、学校生活に支障を来すことも考えられることから、先ほどの小学校のように、無理のない範囲で、日常生活に英語を取り入れていくように工夫することが、大変重要であると考えています。

次に、インターネットを利用して外国の学校と交流することについてですが、交流することにより、英語でのコミュニケーションへの興味・関心が高まったり、実践的な英語力が向上したりすることが期待できると思います。しかし、実施に向けては、インターネットの情報サービスを活用できる機器の整備や個人情報の管理、及び交流する小学校の選定などの課題もありますので、インターネットを利用した効果的な交流の在り方について、今後、研究していきたいと考えています。

以上申し上げまして、永島^{ながしま}璃子^{りこ}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。